

「CellaVision Advanced RBC Application を用いた赤血球形態解析」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部では 2016 年 1 月から 2018 年 5 月までの期間に末梢血一般検査を受けられた患者さんの血液塗抹標本を用いて研究を実施しております。本研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

・研究名

CellaVision Advanced RBC Application を用いた赤血球形態解析

・研究背景・目的

血液にて見られる破砕赤血球は、赤血球が血管内で機械的、物理的な衝撃により損傷を受け出現する重要な所見です。臨床的な意義は血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)や溶血性尿毒症症候群(HUS)など、迅速な治療が求められる重篤な疾患で出現し、破砕赤血球の割合を算出することは病勢を把握する上で重要です。

CellaVision Advanced RBC Application(セラビジョン社製)は自動で赤血球のデジタル画像を撮影し、人工知能テクノロジーにより赤血球を 21 種類の形態に分類します。これらの形態の中から診断に有効な破砕赤血球を抽出し、その割合を定量的に評価することが可能です。本研究は、本装置を用い破砕赤血球の中でもヘルメット型、三角型、つの型など壊れた形を解析することで各疾患の推定が可能であるか評価します。

なお、本研究はセラビジョン・ジャパン社との共同研究です。

・取り扱う資料および診療情報

末梢血一般検査用に作製された血液細胞の染色標本を使わせていただきます。使用する診療情報は疾患名のみです。

・個人情報保護の方法

使用する診療情報は連結可能匿名化(暗号化)した後、研究に利用します。

・倫理上配慮すべき事項

本研究は診療目的に採血された検体を用いるため、患者さんの負担となるような行為はありません。

・研究成果の公表について

研究の成果が検査の向上・発展のため、学会に公表することがありますが、患者さんの血液細胞の染色標本および診療情報は連結可能匿名化(暗号化)されていますので、第三者・

本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

・研究への染色標本および診療情報使用の取り止めについて

取り止めを希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。希望を受けた場合、患者さんの血液および診療情報を本研究に用いません。

・問い合わせ窓口

この研究についてのご質問は、

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 松尾収二 連絡先 0743-63-5611

にお問い合わせください。